

『そなえマップ』について

◆ 『そなえマップ』の考え方 ◆

『そなえマップ』は防災・減災情報を1つに収めると煩雑になるので、以下の項目を1枚にまとめたものです。

①発生時までに必要な情報

・地震、浸水、液状化、土砂災害情報及び建築物の密集情報（延焼危険：、倒壊危険）などの情報を50m格子で表示

②避難までに必要な情報

・避難に注意が必要な道路（幅4.5m未満）、避難路にある危険物（高圧送電塔、トランス付き電柱、1.2m高さ超えの塀、自動販売機、1m高さ以上の石碑、5m高さ以上の木、等）

・いっとき避難場所、地域防災拠点の場所を表示

③避難後に必要な情報

・警察・消防等の公共施設、災害用井戸協力の家、初期消火機材、消火栓、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、公衆電話等を表示

◆ 『そなえマップ』の利用上の注意点 ◆

- そなえマップの情報は基本的に横浜市民防災情報に基づいています。
- 建築物の密集（建築物の延焼危険区域）は横浜市民防災情報に基づいて、50m格子内に20棟以上の木造建築物がある場合に表示します。
- 建築物の密集（建築物の倒壊危険区域）は横浜市民防災情報に基づいて、50m格子内に3棟以上でその50%以上が昭和55年以前の木造建築物がある場合に表示します。
- 『そなえマップ』の情報は、地図の精度上、誤差を含んでいます。表示された基本地図及び各空間事象は、土地や建物等の所有権や境界を示すものではありません。また、表示の有無、表示位置、範囲、形状について、現況との差異があることをあらかじめご理解下さい。なお、基本地図は横浜市の『わいわい防災マップ』に記載されて地図データによるもので利用許可を受けております。